

特進通信 Vol. 1

～常に前向き、そこに夢と希望がある～

いよいよ進級です。全学年とも受験生に一步近づきます。夢を叶えたいなら、目標を明確に提示し、一日一日の時間を無駄にするな！全学年とも、他人事とせず、今からイメージしておいてください。

【内容】

特進卒業生の『受験勉強の仕方』特集！

※多くのクラスの卒業生や先生に受験へのアドバイスを聞きました！

自分に近い人の話はより参考にし、活かしてください。



【言われたことはやる！自分で+α!!】

プログレス卒業生 S さん（国立理系志望）

※理系で、基本は先生に言われた勉強法を実践していた、真面目な生徒でした。

☆最終到達点 **東京農工大学** 進学

○受験生として心がけてきたこと○

【英語】 解いた長文をゆっくり何度も音読して、単語や文法、全体の文構造を頭にひたすら叩き込みながら、効率のいい解き方を探しました。これはセンター試験等の問題形式が決まっているものにはとても有効です。最終的には英文に慣れないと点が取れません。

【全体】 夏休みはセンター試験の勉強と私立や国立二次の勉強両方に時間をあてて、二学期はほぼ、二次試験と私立対策に、12月以降は再び、センター試験対策に時間をさけるように、計画しました。センターが終わったらまた私立や二次対策をしました。直前期は基礎をやっても効果は薄いので過去問研究に専念すべきだと思います。反省点としては、理系科目で基礎力を十分につけることが出来なかったこと。

sさんの偏差値



【目標は最後まで持ち、挑戦し続けよ!!】

サイエンス卒業生Hさん（国立理系志望） ※自分の意志をもって受験と戦っていた生徒です。

☆最終到達点 **明治大学** 進学

○受験生として心がけてきたこと○

【全体】 一番自分がやりたいことを見つけること。目標がなければやる気は出ない。勉強できる環境を作ること。必要ないゲームや漫画はすべて処分する。下を見ない。行きたい大学があるならそれ以下は見ない。偏差値を過剰に気にするな。死ぬ気で一年やれば何とかなる。意地でも毎日やる。一度怠ると元のペースに戻るまで3日要する。大学はオープンキャンパスに行き、自分の目で見て気に入ったところに行くのが一番。やる気も出る。来年もあると思わないこと。参考書は買って一教科一冊でよい。無駄に計画や目標を定めるのに時間をかけない。それより勉強せよ。一年生、二年生からでも1時間でも30分でも、好きな教科からでもよいので、早めに始めておこう。

【失敗】 『本当に行きたいところ・やりたいこと』から『行けそうなところ・出来そうなこと』に逃げてしまったこと。当初、東大で物理学を学ぼうと必死に学習していたが、3年の夏休みからは文系を目指すようになった。勉強していない国語や政経が出来て、時間をかけている数学が伸び悩み、物理に至ってはほとんど理解できなかった。負けるのが怖く、戦わずして逃げてしまった。夏休み以降、ペンを握る時間が減っていった。さすがにまずいと思い、学校のある日は行ってとりあえず3時頃までは残るようにした。ただやる気は最後まで戻らず、5大学中、合格は1校のみだった。

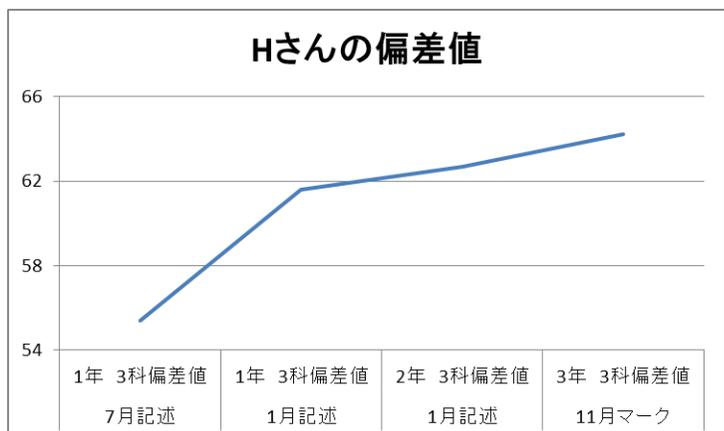
諦めてはそこで成長は止まります。ぜひ夢に最後まで挑戦してください。

【英語】 1,2か月で単語と文法(ネクステ)を何度も繰り返しやりまくる。その後、1週間ほどで一気に英文解釈を一冊仕上げる。その後は時間を計りながら問題を解きまくる。解いた問題は全文もう一度丁寧に、すらすら読めるまで何度も読み返す。Z会の速読英熟語や速読英単語上級編はおすすめ。1年間必死にやれば相当伸びる。

【国語】 古典は文法がカギ！Z会の古文上達はおすすめ。

【数学】 決めた問題集を一冊を何周も解きまくる。+αで、行きたいレベルの大学の過去問を解く！

【理社】 政経は角道先生の授業を真剣に聞けばセンター70点が取れます。授業を大切に！化学はセミナーを繰り返し解く。苦手な人は、東進の「始めからていねいに」がおすすめ。



【毎日朝 7 時に登校!!!】

プログレス卒業生 I さん（国立文系志望）

※文系であり、朝は 7 時に登校し自習を黙々としている生徒でした。

☆最終到達点 **法政大学** 進学

○受験生として心がけてきたこと○

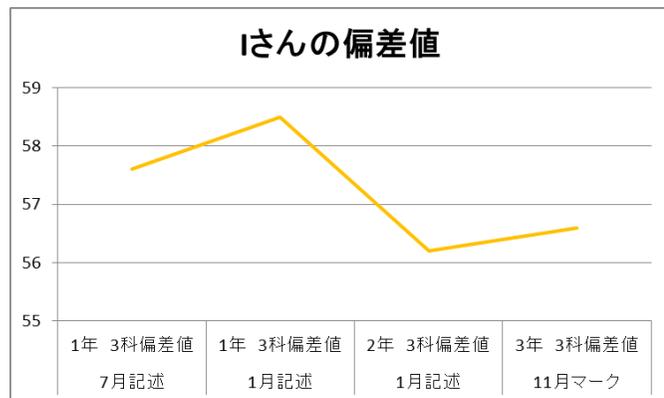
【英語】 単語は空き時間に見て覚える、という方法が合わず、単語を覚える時間を一日一時間取り、ひたすら書いて覚えた。勉強をさぼって出遅れた分、長文でわからなかった単語をピックアップしその日のうちに単語を覚えた。夏休みまではテストにペースを合わせてネクステをやった。夏休み中に 3 回繰り返して解き、その後はテストごと＋弱点をやるようにした。センター直前はセンターの過去問を解き、間違えたところはなぜそうなるのか理解して覚えるようにした。3 年夏休みには一日一長文を読むようにした。志望私大やセンターの過去問の長文に取り組んだ。私は通学中などの空き時間で、単語ではなく、前日読んだ長文の読み直しをした。

【数学】 センター対策としてはセンター過去問と実戦問題集を何周も解いて、間違えたところは理解してから解き方を覚えた。11 月頃から私大の過去問も解くようにした。私大は学校により出題形式や傾向、分野が大きく異なるので、なるべく自分の受験校の試験問題に傾向の近い問題や赤本を探して実施した。

【政経・日本史】 受験はセンターのみだったので、センターの過去問と実戦問題集と模試を解き、自信をもって解いた問題以外は自分ですべて教科書や資料集で確認し、その問題の背景から流れをつかみ自分の言葉で覚えやすいようまとめていた。まとめることにより同様の問題で間違えたときに気づくことが出来るので、その場合はまとめたものを見直したり、空き時間に読むようにしていた。表や対比図を作ると見やすいし覚えやすい。

【生物】 政経と同様に進めていた。特に図を多く使用した方がまとめやすく覚えやすかった。

【全体】 毎朝スクールバスの一号車に乗り教室で自習をしていた。



【センタ-英語 3 割⇒7 割 !!!】

アポルト卒業生 Y さん（私立文系志望）

※西洋史に強い興味を持ち、現代文は感覚、英語は大の苦手な生徒でした。

☆最終到達点 **駒澤大学文学部** 進学

○受験生として心がけてきたこと○

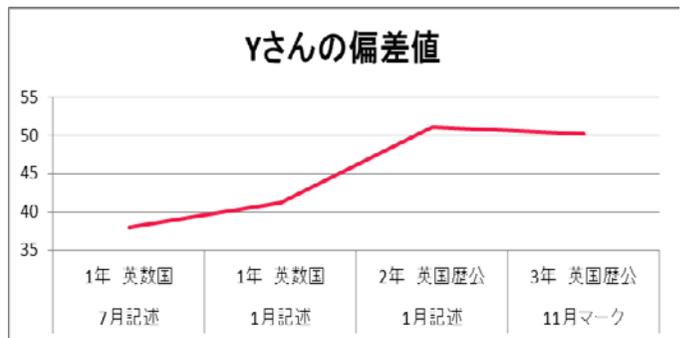
【英語】 勉強を始めたのは春休み。時制、動詞の変化、3単元のSなど本当に中学英語の基礎から始めた。

6月くらいからスクバにてボキャブラ。11月まではネクステのみ。問題文や選択肢等、すべて書き写して解いていた。そこにわからないこと、解くためのポイント等を書いていた。周りは赤シートを使っていたが、私は全部書いていた。長文を勉強し始めたのは11月。英語長文が一人で読めるようになったのは、最後の模試のあと。11月から1日に最低1つは何でもよいので長文を読むようにした。問題を解き終わったらまだ和訳は見ずに英文を全て自力で辞書以外使用せず和訳する。これも全文書く。書かないと話の流れを忘れてしまうし、頭の中だけで訳してあいまいにするのが嫌だったから。12月から受験終わりまでは毎日お風呂で英単語を覚えていた。最後の方は400個ほど。「1日10個覚える」でなく、『1日100個見続ける』ようにした。長文が出来るようになってから成績が伸び始め、出来るようになるのも実感できて楽しかった！

【古典】 高2終わりから古典単語をスクバで読んでいた。

【世界史】 つながりが大事なので、全体の流れをつかむ。先に単語を叩き込んでから流れをつかんでいた。

【志望校】 周囲のアドバイスで英語さえ出来ればもっと上に行けると勧められ、赤本を買うようになり自分でも実感が湧いて目指し、解き始めた。



【新卒 X 先生からのアドバイス!!!】

※3年生になってから自覚が芽生え、地道に努力し、みるみるうちに偏差値 20 UP!

☆最終到達点 **某国立大学 文学部 進学**

○受験生として心がけてきたこと○

- ・月単位、週単位で学習のノルマを決めて計画的に勉強した。
⇒日ごとにむらがないようペース配分を考える。勉強の習慣化。
- ・苦手教科6割、得意教科4割で学習時間を配分した。
⇒得意科目に時間をかけがちだが、90点を100点にするより、70点を80点にする方が楽だし効率が良い。
- ・復習がとても大事。どんどん新しいことをするより、一度勉強したところを何度も繰り返して、知識を定着させる。
- ・息抜きも大事。
休憩は時間を決めて取り、勉強→休→勉強のサイクルも習慣化！

以上、5名からのアドバイスを参考に、頑張りましょう!!!